



# 赤麻小だより

第47号

平成28年6月1日

発行所：栃木市立赤麻小学校校長室

1学期も6月に入り折り返しとなりました。6月は「水な(の)月〈水無月〉」、農事が終わりに水を入れる月だそうです。田を耕して水を張り、麦の収穫を終えたのも束の間、育てた苗を田植えする季節となり、学校の周辺でも、いつの間にか田植えのすんだ田んぼの景色が見られるようになりました。梅雨入りの話題が出る季節で、灰色の空と雨の続く日々を思うと憂鬱に感じますが、暑く厳しい夏を越える大事な天気でもあります。梅雨空に気分も停滞気味となってしまうですが、季節を彩るあでやかな花菖蒲や魔除けの力をもつ紫陽花等、気持ちを切り替え支えてくれるものもたくさんあります。衣替えとともに、気分もリフレッシュし、これから迎える夏の暑さに備えていきたいものです。子どもたちの衣服はすでに長袖から半袖へと衣替えとなりました。

学校では、プール開きも実施され、水泳学習がいよいよ始まります。気温や湿度が高くなりうっとうしいと感じることも多いのですが、ぜひ子どもたちの健康管理に十分ご配慮いただきますようお願いいたします。バランスのよい食事と十分な睡眠、休養を心掛けていただきまして、元気に学校生活が送れるようご協力をお願いいたします。



## 子どもたちの活動から

### 【防災訓練：地震の避難と消火訓練を実施しました】



5月23日(月)に、栃木消防署藤岡分署の方を講師に、防災訓練を実施しました。地震発生後、火災が起きたことを想定し、消火訓練も行いました。消火器の使い方は、先生3名と6年の代表児童に体験してもらいましたが、全員消火に成功しました。

実際に地震や火災は無いにこしたことはありません。しかし、もしもの時に備えての訓練ですから、真剣に一生懸命取り組みました。栃木消防署藤岡分署の皆さん、お忙しいところご指導ありがとうございました。



### 【修学旅行：鎌倉・箱根・小田原の2日間、たくさんの思い出ができました】



5月26日(木)27日(金)の2日間、6年生は修学旅行に行ってきました。鎌倉ではグループ活動、箱根・小田原では体験活動を行いました。

鎌倉は、高徳院の大仏をグループごとに出発し、それぞれが考えた見学コースに分かれて活動しました。鶴岡八幡宮の舞殿前で集合するまでの約4時間余、協力しながら修学旅行のしおりにあるミッションに取り組みました。外国の方へのインタビューをしたり、見学場所での課題に取り組みたりと、楽しみながらもしっかりと学習していました。箱根では寄せ木細工体験、小田原では、小田原城の見学と竹輪・蒲鉾作りの体験をし、蒲鉾は家族へのお土産となったようです。

子どもたちは、ルールを守り、友達と協力し、充実した2日間を過ごし、

たくさんの思い出も学校に持ち帰りました。輝く笑顔あふれる修学旅行となりました。

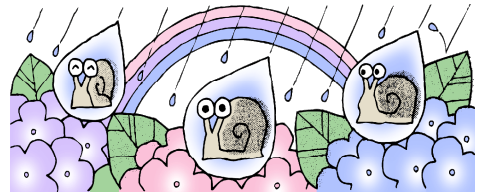


## 【修学旅行その2：鎌倉・箱根・小田原の2日間】



鶴岡八幡宮ではおみくじをひいて、一喜一憂。ホテルの夕食は美味しい海の幸山の幸に舌鼓。寄木造り体験では、模様を考えることで一苦労。ポンドで貼り合わせるのにまた一苦労。蒲鉾作りは魚のすり身と格闘し、蒲鉾の形にするのは匠の技が必要でした。

どの活動も友達とのよい思い出となったようです。



## 【1年生を迎える会実施】



5月25日(水)のあかまっ子タイムに「1年生を迎える会」を実施いたしました。6年生と手をつなぎ、花のアーチをくぐって入場です。清掃班の異年齢グループで並び、「さんぽ」の歌を全員で歌った後、〇×クイズ「学校を知ろう」を行い、1年生は楽しみながら赤麻小について知ることができました。

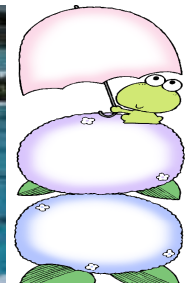
短い時間でしたが、1年生を迎え入れようという上級生の優しさを感じる会となりました。輝く笑顔あふれる、まっすぐな心の広がる1年生を迎える会となりました。

## 【プール開き・いよいよ水泳の授業が始まります。】



5月31日(火)にプール開きを実施いたしました。各学年の代表児童が今年の目標を発表し、6年生代表によるデモンストレーションの泳ぎも行われました。クロールと平泳ぎを披露してくれた6年生の泳ぎはすばらしく、大きな声援と拍手が贈られました。

児童一人一人が目標達成を目指し、不撓不屈の精神で粘り強く練習に取り組み、たくましい心と体を作ってほしいと思います。



5月の第3週から、お昼の校内放送に『お話玉手箱』という時間を設けてもらいました。お昼の校内放送は放送委員会の子どもたちが、今日の献立やその日誕生日を迎える友達や先生の発表、今週の歌の他、日替わりでリクエストやクイズ等を放送しています。今年はその計画の水曜日枠に、『お話玉手箱』という時間を入れてもらい、私が

季節にまつわる話や創作童話、昔話、言葉の由来等、「ことば」に関する話をすることにしました。何のお話が飛び出すかわからないということで玉手箱としましたが、子どもたちに豊かな言葉の担い手になってほしいという思いがあります。「言葉は身の文(あや)」、言葉はその人の人格をあらわします。言葉を豊かにし心を育て、深く考えることのできる子どもを育成するためにも、言葉への興味関心をもつ機会となればと考えています。



